

メールニュース

No.21-02
2021年 1月15日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

3 市長選

保革こえた宮古島市長選 馬毛島の新基地建設許すな 軍港のない浦添市に

ザキミー幸さんの勝利を 八板俊輔市長の再選を 伊礼ゆうきさんを市長に

宮古島の陸自基地建設
反対のぼり



宮古島市長選挙は1月10日に告示され、明後日の17日が投票です。鹿児島県の西之表市長選挙と市議会議員選挙が1月24日告示、31日投票、沖縄県の浦添市長選挙が1月31日告示、2月7日投票でそれぞれおこなわれます。

宮古島市長選挙は、市政刷新をめざす保革を超えた新たな枠組みで前自民党県議のザキミー幸氏が立候補しています。市長

選の大争点の1つは、陸自ミサイル基地配備・弾薬庫建設の問題です。ザキミ候補は、住民の不安・不満を十分に認識し、「知事と連携して国に丁寧な説明を求める」と公約。

西之表市長選挙は馬毛島の新基地建設反対を貫く八板俊輔現市長の再選と反対派議員の圧勝を勝ち取ることが決定的に重要になっています。

浦添市長選挙は、「那覇軍港浦添移設反対」を掲げて、共産党市会議員の伊礼ゆうき氏が無所属の候補者として立候補を予定しています。浦添市長選挙については、沖縄県統一連・瀬長和男事務局長から支援の訴えが届きました。(訴え別記)

3市長選に全国からの支援をお願いします。

1月31日告示、2月7日投開票でおこなわれる浦添市長選挙に、「那覇軍港浦添移設反対」を掲げて、共産党市会議員の伊礼ゆうき氏が無所属の候補者として立候補を予定しています。立候補を要請した市民団体や共産党、社大党、社民党など「オール沖縄」に結集する政党も一緒に事務所を構え、選挙運動がスタートしています。沖縄県統一連も推薦状を手交し、ビラ配布や宣伝行動を開始しています。

現浦添市長は2013年の1期目の選挙公約として、那覇軍港浦添移設反対を訴えて当選しました。しかし、当選後に移設容認に転じ、以降、浦添地先南側案を主張していましたが、次の知事選挙でオール沖縄を分断しようと、政府が現市長を抱きこみ、浦添地先北側案を受け入れさせました。わずか8年の間に現市長は2回も選挙公約を破り、政府と一体となって辺野古反対を掲げて頑張る玉城知事を揺さぶるためだけに市民を裏切りました。

現市長は、北側案受け入れの理由を問われ、「知事も那覇市長も賛成だから」と答えたそうです。地方自治法では国も県も市町村も対等な立場の筈ですが、対等な立場を自ら否定する現市長には一刻も早く、市民の代表から退いてもらうしかありません。また、知事と那覇市長は、那覇軍港の撤去には賛成ですが、移設については地元の意見に従うとの立場を明確にしています。

伊礼ゆうき氏は、看護師として勤務していた経験を持ち、また、シングルマザーとしてののちの尊さ、弱者に寄り添う優しさを力に、市民生活優先の政策を訴えてきた、試され済みの政治家です。豊かな自然が残された浦添市の西海岸を守りたいとの市民の声に応え、軍港移設反対を公約に掲げ、また、辺野古新基地建設にも反対し、玉城デニー知事をしっかりと支える事も表明しています。

沖縄県民の不屈のたたかいと全国の支援で浦添市長選挙に勝利し、来年の名護市長選挙や沖縄県知事選挙にむけて大きなうねりをつくりましょう。コロナ禍でも可能な支援を多くの皆さんに訴えます。

- ① 浦添市在住のご親戚や知人、友人に伊礼ゆうき氏への支持を訴えてください。
- ② コロナ禍で現地での支援も厳しいため、郵送等での激励をお願いします。
送付先 伊礼ゆうき後援会 沖縄県浦添市仲間2丁目48-7
- ②選挙勝利のための支援カンパを送ってください。
送付先 郵便振替口座 01710-8-62723 加入者名 沖縄県統一連

お知らせ

- 1月22日(金) 安保中央・東京の宣伝 中止
- 1月27日(水) 2021年度幹事会(総会) 14時~オンライン会議
- 2月13日(土) 2021年学習と運動交流の集い 13時~(オンライン)